

日の出ネジを子会社化

相互の商材で事業拡大へ

(株)シマキユウホールディングス(新潟県長岡市、島田隆昭社長、以下シマキユウHD)は、今年6月30日に日の出ネジ(株)(群馬県伊勢崎市)を100%子会社化した。

シマキユウHD

産業用高圧ガスや産業機械の販売でグループ事業の拡大を目指していく中で、ねじ販売事業を行う日の出ネジをグループ

化することで、グループ企業の商材を組み合わせた事業による相乗効果を狙う。ねじ以外の商材を広げていきたい日の出ネ

ジと狙いが一致してグループ化を実現した。シマキユウHDとしては群馬県のグループ企業は初めて、北関東エリアでの事業展開を広げていく。

日の出ネジは産業機械

系のユーザーを主力にキヤップボルトの取扱いが豊富なほか、規格品からフォーミング製品、オーダー製作品などを取扱う。このほか建材事業部では、自社加工設備を持ち、プレス、曲げ、切断、フォーミング、穴あけ、溶接など製作も行う。O

Aフロアの床材も製作しており、これに使われるスタッドボルトの内製化も実現している。

今回のグループ化によ

り、ねじ販売事業はグループの商材である産業用高圧ガスや産業機械の販

売も含めた事業を行う。加工設備を持つ建材事業部の内製力も活用していく。

シマキユウHDの島田

隆昭社長は「営業力のある会社だ。営業マンが豊富でグループの商材を併せて売るのに有利に働く。仕入れたモノを売るだけでなく自社加工できる能力は、製品にプラスアルファが求められている中で大きな特長となる」と話す。

島田社長が日の出ネジの代表取締役会長に就任。グループ企業である

(株)シマキユウ(新潟県長岡市)出身で営業支店長の経歴を持つ鹿又裕樹氏が代表取締役社長に就任した。

シマキユウHDは新潟・東北エリアに地盤を持ち産業用高圧ガスや産業機器・機械工具等の卸販売事業を行うシマキユウをはじめとしたグループ企業8社を持つ。関東圏では(株)トウヨーネジ(埼玉県伊奈町)がグループ企業に含まれており、今後は日の出ネジとの配送の連携や営業の交流などを進めていく考えだ。